

令和 5年 11月 30日  
中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所  
大林・大本・市川 JV【(株)大林組】

## 「新丸山ダム本体工事」建設 DX 第 2 回実証実験 (複数建設機械による自動運転実験) ～ 「一連の自律型コンクリート打設システム」に挑戦 ～

新丸山ダム建設事業は、既設ダムの洪水調節機能を維持しながら嵩上げ工事を行う再生事業です。当事業においては施工計画から品質管理までを、次世代型の自動自律施工をはじめとした最新の建設 DX を活用し、ダム建設現場の生産性向上・安全性向上を目指します。  
第 1 回実証実験(令和5年2月28日)に引き続き(別紙-1)、今回第 2 回実証実験を行います。

### 1. 実証実験

日 時：令和 5年 12月 12日(火) 13:30～17:00(予定)

参加者：国土交通省関係者、工事受注者、関係者。

#### 1) 概要説明

第 2 回実証実験の内容や今後見据える自動・自律化運転について説明を行います。

#### 2) 現地

口杣沢建設発生土受入地に移動した後、各建設機械の自動運転や監視状況をご覧いただきます。

#### 3) 新丸山ダム工事事務所 DX ルーム

今回、遠隔臨場(現場から離れた場所から確認等行うこと)や進捗確認のために、新丸山ダム工事事務所にて DX ルームを開設します。

### 2. 集合場所

新丸山ダム JV 事務所(別紙-2)

### 3. 取材申込み

取材等を希望される記者の方は、下記メールアドレスに会社名、氏名、連絡先等を記載の上、ご連絡をお願いいたします。

【連絡先】 E-mail: [cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp](mailto:cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp)

【申し込み期限】 12/5 16:00

### 4. プレスリリース配布先

中部地方整備局記者クラブ、美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブへ同時配布します。

#### 【問い合わせ先】

#### 新丸山ダム建設工事、建設 DX 技術、実証実験、全般に関するお問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長 まつばら かつひこ 松原 克彦 工務第一課長 あんどう なおき 安藤 直樹

電話:0574-43-2780(代表) E-mail: [cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp](mailto:cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp)

#### 自動自律化技術、統合管理システムに関するお問い合わせ

(株)大林組 本社 コーポレート・コミュニケーション室

広報課長 よしおか こういちろう 吉岡 幸一郎、広報課副課長 つつい ようすけ 筒井 庸介

電話:03-5769-1014 E-mail: [press@ml.obayashi.co.jp](mailto:press@ml.obayashi.co.jp)



# 最新DX技術によるダム本体建設への新たなる挑戦 ～自動自律施工システム構築に向けた実証実験～

中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所

令和5年2月28日(火)に「新丸山ダム本体工事」で自動自律施工システム構築に向けた取組みとして、ブルドーザの自動運転実証実験を実施しました。

実証実験には国土交通本省、国土技術政策総合研究所、中部地方整備局と工事受注者らが出席し、新丸山ダム本体工事における建設DXの取組状況等を説明した後に、現場においてブルドーザの敷き均し作業の自動・遠隔運転を確認しました。

今後は、自動自律施工をはじめとした最新の建設DX 技術を活用し、建設現場の生産性向上・効率化を目指します。

## 【実証実験】



実証実験1  
自動運転による土砂の敷均し



実証実験2  
建設機械の遠隔操作



実証実験の概要説明  
【説明者】株式会社大林組 西氏

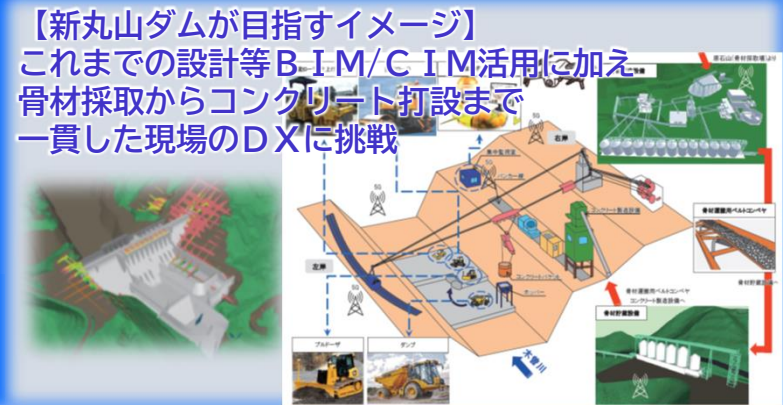
## 【新丸山ダム本体工事で目指す建設DXの説明】



新丸山ダムの挑戦、実証実験主旨の説明  
加納 新丸山ダム工事事務所長



本省 岩崎公共事業企画調整課長をはじめ、国土技術政策総合研究所、中部地方整備局と工事受注者ら約43名出席、新聞社3社取材





**集合場所**

**大林・大本・市川JV現場事務所**

**(岐阜県加茂郡八百津町八百津3340-1)**

